

2023年度入試解説（国語）

2

問一 漢字の書き取りに関して、一画一画丁寧に書かれておらず続け字になっていて画数が変わっているものは×とする。

3

問一 「人窮まりて盗みす」ここでの「窮」は「苦しむ・困る・貧しくなる」という意味である。従って答えは「困窮・貧窮・窮乏」等となる。

問二 文章【I】で「恒の産（安定した収入）」とある。「恒」は「変わらない・一定している」という意味であり、傍線部の「恒心」も「一定不変の道德心」というのが本来の意味である。

問三 二字以上離れた漢字に返るときは一二点を使う。

問四 文章【II】では、「恒産無ければ、困りて恒心無し。苟くも恒心無ければ、放辟邪侈為さざる無きのみ。」と述べていて、恒産がなくなるから罪を犯すということを述べている。

文章【I】で「恒心」について次のように述べている。

- ① 11～12 「まことにかなしからん親のため、妻子のためには恥をも忘れ、盗みもしつべきことなり。（ほんとうにいとしい親のため、妻子のためには恥をも忘れ、盗みさえもしかねないことだ。）」
- ② 13～14 「盗みをのみ罪せんよりは、世の人の飢えず、寒からぬやうに、世をば行はまほしきなり。（盗人を処罰するよりは、世の人が飢えず、寒くないように、世の中を治めてほしいものである。）」
- ③ 14～15 「人、恒の産なき時は、恒の心なし。人、窮まりて盗みす。（人は、安定した収入がないときは、常に変わらない良心に従った心がなくなる。人は暮らしが行きづまると盗みをする。）」

以上から世の中の政治が悪いから人民は追い詰められて罪を犯すということになる。従って正解は④である。

4

問一

(1) 「見当もつかない」は「まったく予想がつかない、見込みをつけることもできない」という意味であるため、正答は④。

(2) 「膝をすすめて」は「①前へにじり出る②乗り気になる」という意味である。続きの「ひそひそひそひそ」から相手に近付いたことが分かるため、正答は①。

問二

X 百円紙幣が、「有難がられ」、折り畳まれることもなく大事に扱われている様子が前

後から読み取れるため、正答は③。

Y 「ねじ込まれ」という雑に扱われる様子が読み取れるため、正答は③。

問三 「モダン型の紙幣が出」るまでは、「百円紙幣が、お金の女王で」、めったに手にすることができないものだったため、「有難がられ」たのである。よって正答は①。

問四 「小耳にはさむ」は「聞くともなしに聞く」という意味であるため、同じく意図せず聞くという意味を持つものを選ぶ。よって正答は②。

問五 「変わり果てた自分の身のなりゆきに」自己嫌悪していた「私」は、「私も変わりましたけれども、まあ、東京の変わりようったら」と自分自身と東京の変わりようを重ねて嘆いている。よって正答は④。

問六 「それはまた日本人に限ったことでなく、～……感情ですから」までの文章の内容を問う問題。誰か「ひとりでも不幸な人」がいる限り「自分も幸福にはなれない」と思うことが「本当の人間らしい感情」だと「私」は感じているため、③または④にしばられる。傍線部前5行の内容や「地獄の亡者がつかみ合いの喧嘩をしているような」という部分から、自分の欲を優先することや他人の足を引っ張っていることが読み取れるため、正答は④。

問七 (2) 紙幣を女性に見立てた理由は、冒頭2文で示されているため、適切でないものは③。

(3) 「私一枚で四升を手に入れ」と書かれているため、「四升」を抜き出す。

(4) 【ノート3】を見ると、Aさんは、百円紙幣の価値について二〇二三年現在の着物と煙草の値段をもとに考えている。そのため、Cさんはこの資料だけで「百円紙幣の価値が下がった」と言えないと述べている。

5

問一

(1) 「痛感」は「強く心に感じる事、身にしみて深く感じる事」という意味であるため、正答は①。

(2) 「拍車をかけて」は「物事の進行を一段とはやめる」という意味であるため、正答は②。

問二 接続詞の問題。

I は前後で「素人の制作した作品など・・・」⇔「素人ではなかったのだ。」と反対の内容だから逆接の接続詞が入る。

II は直前に社会から疎外されている人たちのメディアの利用状況の具体例が挙げられており、II以降別の具体例が挙げられているため、並列の「また」が入る。

III は前の内容に加え、情報強者と弱者の格差について述べているため、付け加えの働きをもつ接続詞が入る。

IV の後には、前の内容に対立する事柄が述べられているため、対立する事柄を認める

働きのある接続詞が入る。

以上を考えると正解は③となる。

問三 ①は受身、②は自発、③は尊敬、④は可能の助動詞。傍線部1は「期待される」の「れ」であり、受身の助動詞であるため、正答は①。

問四 ①は「利益を追い求めずに情報を提供する」が誤り。②は「常に利益を追い求める」が誤り。④は「公正で平等な社会を目指して取材をしている」が誤り。正答は③。

問五 傍線部4以降、具体例が示されており、その後に「こうした言論空間のゆがみを是正していくためには、」とあるため、それ以降字数に合うよう抜き出す。

問六 傍線部5の前の内容をまとめる。「メディアの多元性を確保するために様々な政策がとられている」と、「外見や出自などによる差別は許されないという強い共通認識がある」という二点をおさえる。

問七 「包丁」は、「多くの人が当たり前を使うもの」「使い方によっては人に危害を加えるもの」「危険だからといって使用を制限されることはないもの」「子どもの頃から使用することは良しとされているもの」「小さい頃から大人と一緒に使うことで技術を身につけられるもの」である。

この中で、インターネットとの共通点として当てはまらないのは「使用を制限される」という点であるため、正答は④。

問八 傍線部8を文節に分けると「多様な／情報に／触れる／技術を／学ぶ／ことが／できる」となるため、正答は②。

問九 生徒A・・・本文の主旨に合致する。正答。

生徒B・・・現代であっても「シングルマザーはまったく疎外されていない」とは言い切れないため、誤答。

生徒C・・・本文の主旨に合致する。正答。

生徒D・・・「社会に声が届きづらい人の意見だけを」が、本文の主旨に合致しないため、誤答。

生徒E・・・「見ないように気を付けている」が、本文の主旨に合致しないため、誤答。